

わが家の庭が、世界の海につながっている。

海は、多くのロマンをつくりだしました。青い海、白い波、うずまく怒濤、
満天の星……時には強く、時には優しく私たちがいざないます。

身近かにクルージングやヨットイングを楽しみたい。

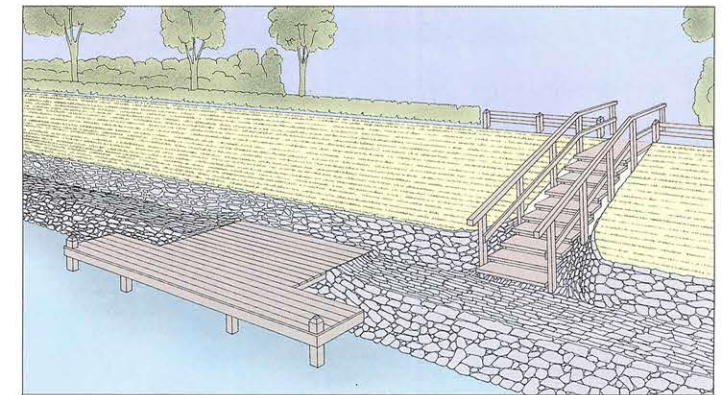
ワッセナーは海を愛し、船を愛する方々のマリンライフの舞台としてあなたをお迎えます。

水辺を、暮らしに採り入れました。

水辺にオランダの家並みが広がるワッセナー。

それぞれの住まいには、運河に面して緑ゆたかな庭があり、
プライベートハーバーをもつプランも用意されています。

やわらかな風を感じながら、庭先でのんびりとコーヒーを味わい、
読書にふける。思いったら愛艇に乗り込み、大村湾へ。



■戸建住宅棧橋計画図



オランダに学びながら、あくまでジャパンを意識しました。

伝統的なオランダの家をモデルにした住宅。そのひとつひとつが個性的な表情をもちながら、街並み全体は、やわらかな統一感とエキゾチックな景観をつくりだしています。室内は日本の風土の中で暮らすための工夫をこらし、住むほどに新しい発見に出会える住まいを実現しました。

伝統的なオランダの家を、外観デザインの基調にしました。

ワッセナーの住宅は、17世紀から19世紀のオランダの家をモデルにしています。屋根、窓がシンメトリーにデザインされ、運河からの景観も意識して設計されています。幾度も専門家による検討を重ね、すみずみまで外観にこだわりました。高級感をもちながら、温かく親しみやすい住まい。暮らすほどにやすらぎの場となっていきます。

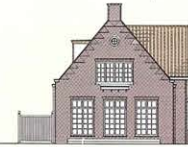
佇まいはエキゾチックですが、機能は日本の暮らしが基準です。

サッシ枠は白またはダークグリーン、道沿いの街灯やポストはオランダのデザイン。電線は地中に埋設。洗濯物から景観を守るサービスコートを設置。街並みをすっきりと演出しています。外観を最優先させた設計でありながら、間取り、水まわりの使い勝手など、暮らしの面では日本の生活習慣を充分配慮しました。

あなたの庭も、街の財産と考えます。

植栽、建物、柵、車庫など、街の景観に影響するものは、住む方の都合で変えることはできません。これは、街全体の美しさ、あなたの住まいのステイタスにまでこだわったからです。緑化協定、建築協定によって、調和のとれた住環境を守り育てていきます。

(伝統的な4タイプのオランダ家屋)



帆船、漁船用の木材をもち、耐候性にすぐれた濃緑色の船体塗料を外壁に使用し白の縁取りをした、港町の家をモデルにしています。



大きな茅ぶきの屋根と屋根裏部屋を特長とする、シンプルな間取りの農家をモデルにしました。ワッセナーの家屋では、屋根は瓦を使用しました。



オランダの郊外で多く見られるこのタイプは、伝統的な3つのタイプと比べ、ベルギーやフランスなどの様式を採り入れたプランです。



オランダのレンガ造りの大邸宅がモデル。外観は総2階で、シンメトリーを基調としています。



レンガ一個にまで、こだわりました。

花と緑と水に囲まれたワッセナー。

道路や花々にも表情があり、街全体がひとつの公園になっています。

季節ごとに異なる表情をみせる街並みは、

歩くだけでも、心はずませてくれます。

小鳥が集まってくるような、グリーンプランを練りました。

庭も公共スペースの一部と考えました。住宅を囲む外構は植栽を美しく配置し、塀を設けず、開放感を重視しました。街全体がひとつの公園のようなのびのびとした印象を与えてくれます。野鳥が好む木も植えられます。鳥のさえずりで目を覚ます朝は、どんなに素敵なことでしょう。

美しく敷きつめたレンガの道が、大地をいたわります。

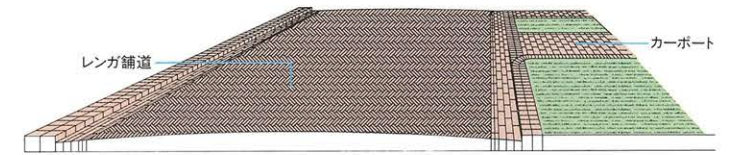
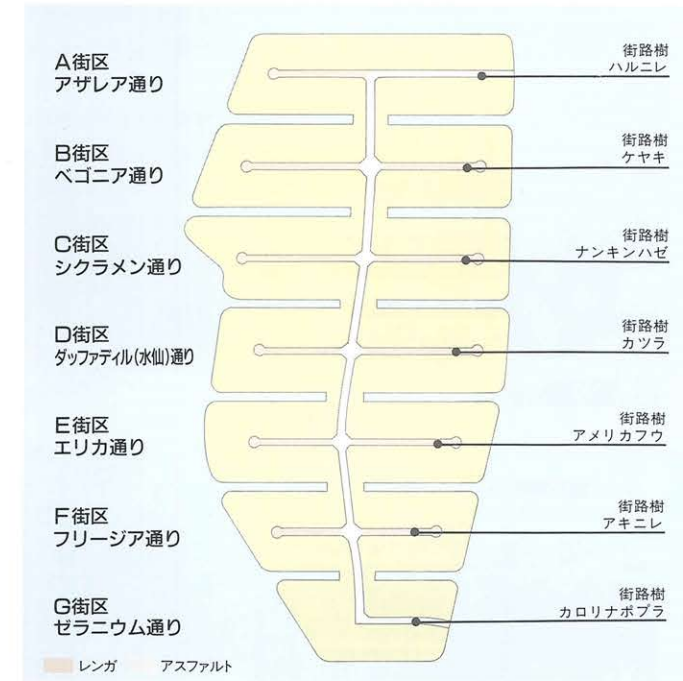
時を経て街の趣がますます、道路にはレンガを敷きつめました。

レンガ舗道の下は、厚い砂の層が敷かれ、雨水はそのまま大地に浸透します。

50年先、100年先を気遣い自然を育てていこうという配慮です。

レンガ敷きのしっとりとした道を歩けば、人はもっと優しくなれるでしょう。

レンガ敷きパターン図



水と親しみ、樹を育み、街をそだてます。

運河が走り、船で国中を旅することができるオランダ。

ワッセナーにも運河が美しい景観をつくり、

交通路としての役割も果たしています。運河の水質はきれいに保たれ、

水も大切な景観のひとつ、という考えがいかされています。

きれいな運河の水が、暮らしに潤いをとけます。

水鳥が羽を休め、人はその光景にやすらぎを感じる。

ハウステンボスの運河は、自然の潮位を利用して海水の循環を行います。

水中ファン、運河ポンプがそれを助け、水質はきれいに保たれます。

美しい水面は、住む方々のところを映し、ゆとりある日々を演出します。

水際に自然石をもちい、生物の息づく運河をつくります。

自然と共存しながら国づくりをすすめてきたオランダは、

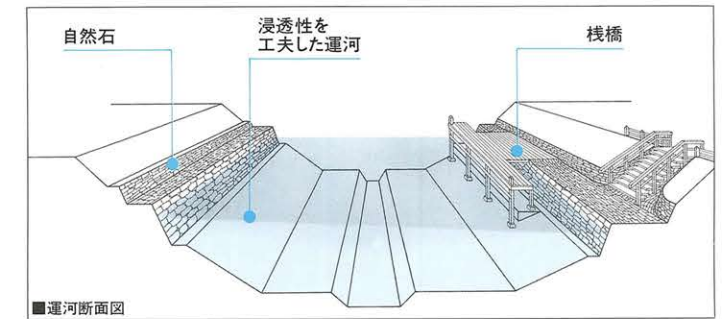
外国から輸入してまでも運河に自然石を使いました。

海と陸の生態系を結びつけるという役割を大切にしました。

ハウステンボスの運河も水際は自然石、

運河底はコンクリートではなく浸透性のある構造にし、

生物に優しい環境をめざしました。



■運河断面図



■敷地と運河の断面図



静けさが、プライベートな時間をつつみます。

この街を訪れるとき最初に目にするオランダの景観、ウィルヘンフラット。
ハウステンボスの賑わいから、一歩しりぞいた、静寂につつまれた三階建のマンションです。
街を一望するバルコニー、水辺の社交場プロムナード。
くつろぎの時間はゆるやかに満ちていきます。

バルコニーに、ハウステンボスの景観がひろがります。

ハウステンボスの街を望みながら佇むウィルヘンフラット。

ヨーロッパ調のバルコニーに立てば、

水と緑の街の景観とともに、大自然のつくりだす酸素を胸いっぱい味わえます。

70㎡～120㎡のゆとりある住空間、120戸。

1棟に12戸。総戸数120戸。それぞれの住空間は個性に富んでいます。

内装は12バリエーション。間取りプランは基本10タイプ。

リビングルームはたっぷりとり、会話のはずむオープンカウンターキッチンにするなど、

未来のふるさとにふさわしく、設計は「くつろぎ」をテーマにしました。

マンションの持味プライバシーを、オートロックが確保します。

10棟それぞれの入口(2カ所)に、オートロックシステムのドアを設けました。

ここで暮らす方々の安全とプライバシーを守ります。

住まいの分だけ、駐車場を設けました。

全住戸分の駐車場があります。クルマでめぐる長崎、九州の旅の拠点にもなります。

(マンションの外観の基本をなす4タイプのオランダ邸宅)

ウィルヘンフラットとは、オランダ語で「柳につつまれた建物」というような意味。19世紀のオランダの邸宅をモデルにした低層マンションが、緑に彩られた水辺に10棟、それぞれの趣を見せながら並びます。



(W-II)



(W-III)



(W-IV)



(W-V)

